

城ヶ島陽だまりハイク山行報告

【山行日】2016年 2月 21日(日) 晴れ
【集 合】岩舟支所P AM 5:00
【費 用】マイカー1台 : 4,500円
【メンバー】CL:鈴木ユ、大西、福田夕、渡辺ト
【コースタイム】岩舟支所 P5:00 = 城ヶ島
P7:20/7:30 ~ 灯台 7:50 ~ 分岐 8:00 ~ 公園入口
8:40 ~ 安房崎灯台 9:00 ~ 公園入口 9:20 ~
馬ノ背洞門 9:40 ~ 城ヶ島 P10:15 =
「まるいち」食堂 10:40/11:30
=「うらり」11:40/12:00 = 岩舟支所 P15:30



城ヶ島のスイセンの花と、三崎の美味しいマグロを求めて城ヶ島陽だまりハイクを計画した。



前夜低気圧が南岸を通過し、雨がかなり強く降ったが、気温が高く路面凍結は無く安心した。佐野ICから東北道に乗り、首都高速から横浜横須賀道を通ると2時間20分で城ヶ島に着いた。いつものように県営駐車場に車を止め、ストレッチを済ませ予定より早く海岸に向かって歩き始める。突き当りを左折し、お土産屋が並ぶ狭い道を通り、途中から右折して京急ホテルの前の海岸に出た。海岸に出ると波が荒かったが、海の上に真っ白な富士山が大きく聳えていた。富士山をバックに写

真を撮り、ホテルの右側の石段を登ると灯台に着く。灯台からは朝陽に輝く相模湾が見渡せ、富士山も白く輝いていた。灯台から東に降り、お土産屋の路地を右に進むと海岸の分岐に出る。公衆トイレ右側の遊歩道入口から登ると、スイセンが咲く遊歩道を歩くようになる。でも水仙の花は昨夜の雨に打たれ、下におじぎしたままで痛々しい。今日の天気は風が強い予報だが、今



のところ穏やかで暖かく、ベンチがある休憩所で上衣を脱いだ。篠竹に囲まれた遊歩道を歩き、馬ノ背洞門への分岐を左に曲がると間もなく城ヶ島公園の駐車場に出る。駐車場脇のスイセン広場は、例年は満開のスイセンが出迎えてくれ



るが、今年は暖冬で花はほとんど終わっていた。公園入口の管理事務所も人気が無く、置いてあるパンフレットをもらい入場する。公園内は広い道が三本通っており、右側の道を進み展望台に上がった。展望台からは伊豆半島から大島、東京湾の向こうには先日登った房総の鋸山が見えている。展望台の先から階段を下り、海岸へ降り岩場を歩いて行く。

岩場は標識も無く、かすかな歩いた跡を見ながら歩き、ルートファインディングを要する。波が強く海

寄りの岩場を歩くと、波しぶきを受ける。安房崎灯台まで行こうとしたが、手前の岩場や灯台まで波が押し寄せ近づけなかった。そのまま海岸沿いに行ける所まで歩き、公園の登り口まで戻った岩場でコーヒブレイク。岩に腰をおろし、海を見ながら飲むコーヒは格別に美味しく感じられた。

公園へ登り返しトイレを済ませ、帰路は真ん中の道を歩いて行く。入口を出て駐車場脇から遊歩道に入り、分岐を馬ノ背洞門へ向かって降りて行く。洞門は岩を波が削って貫通し、ブリッジ状になった城ヶ島の景勝地。ここからは又、海岸の砂浜や岩場を歩いて京急ホテルまで行く。ホテルからは来た道を戻り、県営駐車場に戻った。参加者が少なく、平地歩きは早いメンバーが揃い1時間早く戻れた。車で三崎港に向かい、商店街の駐車場に車を止めようとしたが駐車場所が無くなっていた。



まるいち食堂で駐車場所を聞き、食堂の受付表に名前を記入する。車を置いてからまるいち食堂に



着き、食べたいお魚を選び、刺身や煮つけ等の調理方を指定する。ヤリイカとカワハギはお刺身に、「だつ」と言う地魚を勧められ煮つけで食べることにする。11時まで少し待たされたが、早く着いたおかげで最初の回に食べる事が出来た。皆さんはマグロ三色定食をオーダーし、若輩は「真澄」の純米吟醸酒をオーダーする。ヤリイカの刺身とカワハギの刺身は新鮮で皆さん大喜び。「だつ」の煮つけもプロの味付けでとても美味しくいただいた。マグロも大トロ・中

トロ・赤身の三種盛で切り身が大きく至福の一時を過ごせた。

少々値は張るが、美味しいお魚を食べられ皆さん大満足の様子。

お腹が満たれたら「うらり」に移動し、お土産タイム。皆さん好きなものを沢山買いこみ、袋をぶら下げニコニコ顔。帰りは三浦市内が少し渋滞したが、高速道は順調に走り2時間30分で岩舟支所に戻ることが出来た。今回は海が荒れていて漁が出来なく、「まるいち」ではお土産の地魚が買えなかったが、「うらり」のお魚はとても美味しく食べる事が出来、大満足の陽だまりハイクとなった。